

「転換」

～臨時休業延長に係り 学校便り 5月号に代えて～

臨時休業が続く中、5月を迎え、十日が過ぎました。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、臨時休業中の対応につきまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。深く感謝申し上げます。

5月7日に保護者メールにてお知らせいたしました通り、緊急事態宣言の延長に伴い、臨時休業が5月31日まで継続されることとなりました。品川区の対応はメール内容の通りです。本校の対応について特段の変更はありませんが、家庭学習、電話連絡等につきまして再度ご確認をお願いいたします。

学校再開につきましては、文部科学省のガイドラインが発表され、感染拡大防止を最大限考慮した分散登校等の例も示されました。品川区の具体的な方針はまだ出されておりませんが、6月以降の学校再開に向け、本校におきましては、児童数に照らした分割方法、登校・下校時間、在校時間、教室配置、また、健康状況確認や消毒の場所と回数、手洗いの機会と場所の確保等の検討段階に入っております。学習方法につきましては、発話を極力避け、児童同士の距離を保つことができる活動等を工夫する方向で準備を進めています。学ぶことの継続性を最優先に考え、既習事項(すでに学習した内容やその方法)を活かした家庭学習プログラムを、保護者の皆様に多大なご支援をいただきながら実施しているところですが、今後、通常の対面授業が可能となった際も登校日が限られる可能性が大きいことから、現在実施中のプログラム(紙面による遠隔授業)との組み合わせで学習を進めていくことを視野に入れ、準備を進めています。

「動」から「静」へ。

見える学びの形は、変化させざるを得ませんが、頭の中は、より「動」へ。子どもたちの学ぶことの質を落とさないよう、教職員一同、意を一にして取り組んでまいります。

改めて、保護者の皆様、地域の皆様には、ご理解とご支援をいただきたく、よろしく願いいたします。

<臨時休業中の対応>

①家庭学習プログラムの実施

各学年のプログラムは、これまで通り毎週月曜日夕刻にHPにアップします。

全ての教科において、「教科書」使用を基本としてその読解に主眼をおき、迷いなく学習活動を進めながら理解が促されるよう、前学年までの学習ですでに獲得している知識・技能、思考の経験を活かして新しい学習につなげていけるようにしています。「読む・書く・かく(図や表)・写す」活動を総動員して思考に働きかけ、学習のねらいを達成できるよう、より一層工夫を重ねてプログラムを作成していきます。また、学習を進めてきた経過や積み重ねが見えるよう、「ノート」の使用を基本としています。学校が再開し、対面授業が可能になった場合、このノートを確認しながら、授業を進めます。プログラムの指示、説明をよく読んでノートにしっかり記すようにご支援をお願いいたします。教科によっては、映像を見るというような指示もあります。無理のない範囲でご協力をどうぞよろしくお願いいたします。